禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

お客様の安全のため、当日の体調や状況等により、当協会の判断で検査･健診を中止させていただく場合がございます。
また、各検査における禁忌事項（当ページ）もご確認ください。

検査	内容
脳ＭＲＩ検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	ペースメーカ、植込み型除細動器（ICD）、植込み型心臓モニタ（ICM）を装着している
	人工内耳や神経刺激装置等の体内電子装置を装着している
	可動型義眼（マグネット式）を装着している
	ステント留置術３か月以内である
	体内金属がある（部位・手術方法による）
	極度の閉所恐怖症である
	体重１２０ｋｇ以上または胸・腹囲１３０ｃｍ以上
	マグネットネイル、ジェルネイル、金属を含む顔料を使用したマニキュア等を塗っており、検査時に落とせない
胸部Ｘ線検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
胃部Ｘ線検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	大動脈瘤・解離（胸・腹部）のある方は、主治医の許可が必要です。事前に必ず確認してください。また、当日の腹部超音波検査で腹部大動脈瘤が４０mm 以上であるか、４０mm 未満で破裂の危険性が高い場合も中止となります。
	当日の血圧測定値の平均が収縮期血圧１８０mmHg 以上または拡張期血圧１１０mmHg 以上
	過去にバリウムによる副作用 (息苦しさ、発疹、腸閉塞等) を起こしたことがある
	過去にバリウムを誤嚥し、医師から検査禁忌とされた
	腎臓疾患、心臓疾患等で水分摂取制限をしている
	植込み型除細動器（ICD）を装着している
	体重が１５０ｋｇ以上
胸部ＣＴ検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	植込み型除細動器（ICD）を装着している
	１０秒間の息止めおよび体動を止められない

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04

禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

検査	内容
内臓脂肪 CT 検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	10 秒間の息止めおよび体動を止められない
呼吸機能検査	心筋梗塞の既往があり、「治療中」、「経過観察」、「放置」のいずれかである
	脳血管障害（脳動脈瘤）の既往があり、「治療中」、「経過観察」、「放置」のいずれかである
	大動脈瘤・解離の既往があり、「治療中」、「経過観察」、「放置」のいずれかである
	当日の血圧測定で収縮期血圧が１回でも２００mmＨｇ以上ある場合
	当日の腹部超音波検査で腹部大動脈瘤が４０mm 以上であるか、４０mm 未満で破裂の危険性が高い場合
乳房Ｘ線検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	下記の装置を装着している
	・ ペースメーカ、植込み型除細動器（ICD）、植込み型心臓モニタ（ICM）、Ｖ - Ｐシャントチューブ（脳室と腹腔を連絡する細い皮下チューブ）
	豊胸・美容術のうち、以下に当てはまる
	・ バックプロテーゼ（シリコンバッグ）挿入法・人工乳腺法（ジェル状・液体状の内容物が詰められたバック（インプラント）を挿入する豊胸術）
	・ シリコン、コヒーシブシリコン、バイオセルバック、クリスタルバック、ＣＭＣバック、生理食塩水、ハイドロジェル等
	・ シリコンやパラフィン等を直接注入している

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04

禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

検査	内容
血圧脈波検査	次の既往がある方：深部静脈血栓症、血栓性静脈炎、全身の浮腫
	以下に当てはまる方は検査員にお申し出ください
	・ 慢性腎不全、人工透析中、閉塞性動脈硬化症、血管炎、レイノー病、動脈瘤、動脈解離、不整脈（心房細動等）、乳がん手術後、四肢に外傷がある、車イスの方
内視鏡検査	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	大動脈瘤・解離（胸・腹部）のある方は、主治医の許可が必要です。事前に必ず確認してください。また、当日の腹部超音波検査で腹部大動脈瘤が４０mm 以上であるか、４０mm 未満で破裂の危険性が高い場合も中止となります。
	キシロカイン（胃部内視鏡検査や歯科治療等で局所麻酔に使用する薬剤）のアレルギーがある
	体重が２００ｋｇ以上
体脂肪測定	妊娠中、または妊娠の可能性のある方
	ペースメーカ、植込み型除細動器（ICD)、植込み型心臓モニタ（ICM）を装着している
検査・健診全般	３７．５℃を超える発熱がある場合は受診できません

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04

受診時のお願い（健診・一日人間ドック）

※人間ドックセンター（永井）で専門ドックを受診する方は、6 ページをご覧ください

検査	内容
服薬	前日、当日ともいつもどおりお飲みください。 受診日当日の朝は、血糖を下げる薬は中止してください。 高血圧や心臓病の薬は服用してきてください。 ただし服薬については主治医に事前にご確認ください。
食事　前日	飲食は受付時間の 10 時間前までに済ませてください。その後、水分は摂ってもかまいませんが、アルコールは控えてください。
食事　当日	検査終了までは飲食・喫煙をしないでください。 起床後すぐに少量の水（約 100ml）は飲んでもかまいません。 午後に胃部Ｘ線検査を受診される方については、以下のとおりお願いいたします。 ・ 当日朝 7 時までに食べて良いもの：何もつけない食パン 1 枚、砂糖やミルクを入れていないコーヒーや紅茶 ・ 水やお茶に限り当日 10 時まで飲んでもかまいません。
診察について	受診される方に誤解を与えず気持ちよく受診していただくため、あらかじめ注意事項等お知らせすることといたしました。 ・ 受診する際は、事前に下着（ブラジャー等）を外し、診察や検査のしやすいＴシャツ等の衣服に着替えてから、受診いただくようお願いいたします。 ・ 診察の際、事前に下着（ブラジャー等）を外してこられない場合は、適切な診察ができない場合もありますのでご了承ください。 ・ 診察の際はシャツをまくり上げていただくこととなりますので、ご協力をお願いいたします。
内科診察の受診勧奨について	医師の内科診察（他覚所見）で医療機関受診が必要と判断した場合「健康診断における所見について」の文書をお渡しします。 例）重症な不整脈、心雑音、甲状腺腫等、早急に受診が必要な場合 本対応は、他覚所見のみの情報のため紹介状としての機能はありません。あくまでも健診結果を待たずに早期受診につなげるためのものです。 後日、健診結果とともに別途紹介状（心電図所見等）が発行されることがあります。その際は受診先の医療機関にご提出願います。
健康診断当日	受付時、以下に該当する方はお申し出ください。 ・ 体内にペースメーカー、金属または磁性物質等が入っている方 ・ 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 ・ 採血で具合が悪くなった経験がある方、血液が止まりにくい方
採便方法	前日と当日（または前々日と前日）、計２日分を採便してください。 しっかり２日分提出することにより大腸がんの発見率が上がります。なお１日分しか提出がなく「陰性」の場合は正しい判断が出来ないため、判定できません。 ・ 採便後は容器を提出用袋に入れ、低温保管してください。 ・ 容器と袋に氏名を忘れずに記入の上、提出用袋に入れてお持ちください。 ・ 生理中は採便をしないでください。
採血	採血後に具合を悪くしたことのある方は、あらかじめお申し出ください。 採血後は座った状態で 5 分間安静にしていただきます。採血後数分間に多い迷走神経反射によるめまいや意識喪失での転倒を防ぐためです。発生の予測が困難であるため、全ての方にお願いいたします。ただし、巡回健診において安静場所が確保できない場合は除きます。 採血後、採血部位をもんだり刺激したりせず、約５分間上から軽く圧迫して完全に止血してください。止血が不完全ですと周囲に血液が漏れ出し、周辺組織の腫脹、皮膚色の変化、しびれ、筋肉の脱力感等が出現することがあります。通常２～３週間程（場合によってはもう少し時間がかかります）で自然に回復しますので、心配ありません。止血時の圧迫を徹底することで軽減につながります。
胸部Ｘ線検査	服装は無地のＴシャツもしくは無地の薄手の肌着で、金具やフックのある下着やネックレス等を外していただきます。湿布、カイロ等は剥がしていただく場合があります。
胸部ＣＴ検査	服装は無地のＴシャツもしくは無地の薄手の肌着で、金具やフックのある下着やネックレス等を外していただきます。 ペースメーカー植え込みの場合は、検査可能かどうか主治医への確認が必要となります

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04

受診時のお願い（健診・一日人間ドック）

検査	内容
内臓脂肪 CT 検査	撮影範囲（へその位置の胴回り）にある金属やプラスチック、湿布等を取っていただきます。撮影範囲内に体内金属がある場合は、正確に計測することができない場合があります
心電図	事前に下着、ストッキングを脱いできていただくようお願いいたします。
眼圧	コンタクトレンズは外していただきます。ケース等ありましたらご持参ください。
子宮頸がん検診	子宮頸がん検診は、子宮の入り口付近（子宮頸部）の細胞をブラシで採取し、顕微鏡でがん細胞がないか調べる検査です。また、子宮や卵巣等の状態を医師が内診で確認します。 ・ 着脱の時間のかかる下着はあらかじめ外してください（ボディースーツ・ストッキング等）。 ・ 生理中でも受診できます。 ＜検査の受け方＞ ・ 下着を脱いで診察台に上がります。 ・ 手は胸におき、口でゆっくり深呼吸をして体の力を抜きます。 ・ 検査中に痛みがあるときは我慢せずお申し出ください。 ＜検査後の注意＞ 検査のあと痛みや出血することがありますが、症状は数日で自然に治ります。 検診を受けた当日はシャワーか掛け湯だけにしましょう。また、性行為も控えましょう。 ＜規定の細胞が採れなかった場合＞ 正確に判断するため、採取する細胞の数が決められています。そのため顕微鏡でみて細胞が少なかった場合には再度検査をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。
所持品について	貴重品の持ち込みは、トラブルを防止するためご遠慮ください。
喫煙について	健康増進法等に基づき、館内・敷地内禁煙となっておりますのでご協力願います。

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04

受診時のお願い（ 専門ドック）

1 問診票は受診されるご本人がもれなく正確に記入してください。

この問診票は医師の診察や検査の判定、生活習慣改善アドバイスの際に必要です。

2 体調不良時の受診はご遠慮ください。

※ 37.5℃を超える発熱がある場合は受付できませんので、あらかじめご了承ください。

3 専門ドックで行う主な検査の条件などについて確認してください。

〈受診前日と当日の準備およびご注意いただきたいこと〉

前日の準備	検査前日の準備は特にありません 食事（前日・当日の朝食）や服薬はいつも通りで結構です
服　装	こちらで準備した検査衣に着替えていただきますので、軽装でお出でください
持参品	貴重品のご持参は、トラブルを防止するためご遠慮ください
採　血	以前「採血後に具合を悪くした」ことのある方は、あらかじめお申し出ください
昼　食	必要に応じてご準備ください
その他	妊娠または妊娠の可能性がある方、介助等の必要な方は事前にお申し出ください なお、乳幼児のお連れはご遠慮いただいております

公益財団法人岩手県予防医学協会 504-2024.04